

学校・家庭・地域みんなが子どもたちの「せんせい」です

# 名護市 コミュニティ・ スクール



# コミュニティ・スクール

## 地域とともにある学校づくり

保護者や地域住民の皆さんが学校運営に参画する仕組みとして、学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」といいます。地域とともにある学校として、保護者・地域住民の皆さんと教職員が、学校の教育ビジョンや課題を共有し、ともに知恵を出し合いながら、教育活動の充実と学校や地域課題の解決につなげていく取り組みです。



## 2022年度全市立小・中学校でスタート！

名護市では、地域とともにある学校づくりを目指し2016年度から市立小・中学校へコミュニティ・スクールを段階的に各校へ導入してきました。2022年度から全市立小・中学校でコミュニティ・スクールがスタートします。

### 子どもたちの教育環境の充実

地域の方が学校教育に参画することで…

- より多くの大人が関わることで専門性や地域の力を活かした学校運営や教育活動が実現し、多様な経験を積むことができます。
- 授業を始め、体験活動、見守り活動など様々な場面で多くの大人が関わることで、見守られているという安心感の中で成長することができます。
- 地域の人材や資源に触れることで地域への愛着が沸き、地域への関心が高まり、学校に留まらず地域を含め子どもたちの学びの場が広がります。

### 将来の担い手を育むネットワークづくり

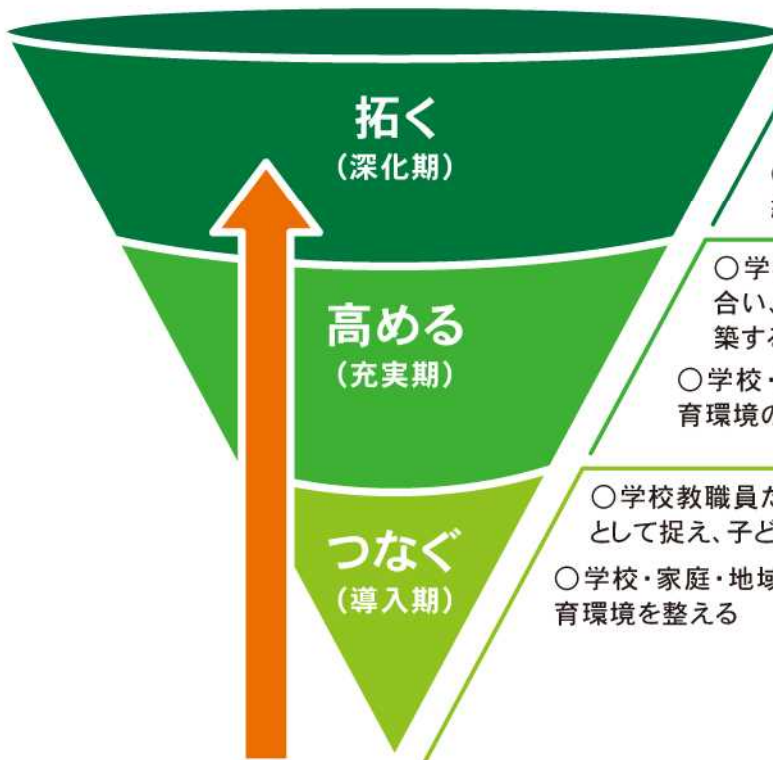
それぞれがつながり地域全体で将来の担い手となる子どもたちを育むネットワークを構築し、得意分野を活かした取組を持続可能な形での展開を目指します。



幅広い層の地域住民・団体などが目標を共有し「緩やかなネットワーク」を形成

# コミュニティ・スクール(CS)で目指す方向

名護市では、コミュニティ・スクール推進にあたり各段階に応じた体制を3段階に整理し、5年を目途にステップアップしていけるよう、学校・家庭・地域のネットワークをつなぎ子どもたちの教育環境の充実を図り、その先には地域とともにある学校として、地域の持続可能な発展を共に拓いていくことを目指します。



- 将来の担い手となる子どもたちを育むパートナーとして、学校・家庭・地域の垣根を越えて共に歩む
- 地域とともにある学校として、地域の持続可能な発展を共に拓く

- 学校・家庭・地域、老若男女が互いに学び合い、支え合い、高め合う互恵的な関係を構築する
- 学校・家庭・地域それぞれの教育力を高め教育環境の充実を目指す

- 学校教職員だけでなく、地域人材もすべて「せんせい」として捉え、子どもたちの育みに参画する
- 学校・家庭・地域のネットワークをつなぎ、子どもたちの教育環境を整える



CSスタート

CS推進スローガン(導入期)

学校・家庭・地域 みんなが子どもたちの「せんせい」です

## CS推進キーワード



- 子どもたちは地域の宝、将来(地域・産業)の担い手
- 「想い」・「ビジョン」の共有
- 「個別」から「総合化・ネットワーク化」へ
- 子どもたちの豊かな成長を支えるネットワーク
- 参加から参画へ、支援から協働へ



# 学校運営協議会ってなに？



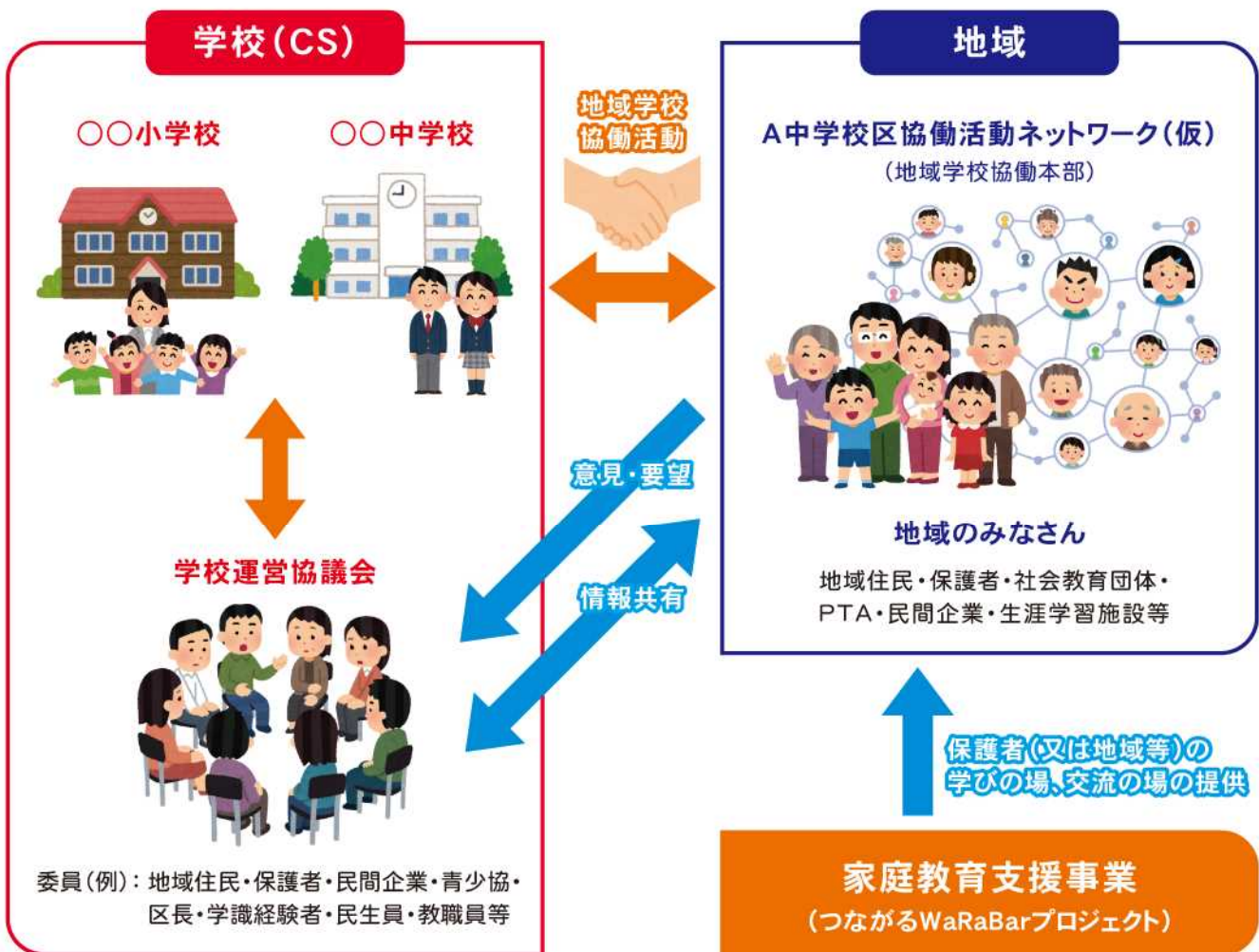
子どもたちの豊かな成長を支えるため、保護者や地域住民等、学校に関わる広い関係者が委員となり、一定の権限を持ち熟議し学校運営や地域との連携活動に地域の声を積極的に生かしていく「学校の応援団」です。

## 【学校運営協議会の主な役割】

- 校長が作成する学校運営の基本方針の承認。
- 保護者・地域の皆さんへ情報共有や意見を集約する。
- 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる。
- 教職員の任用に関して意見を述べるができる。

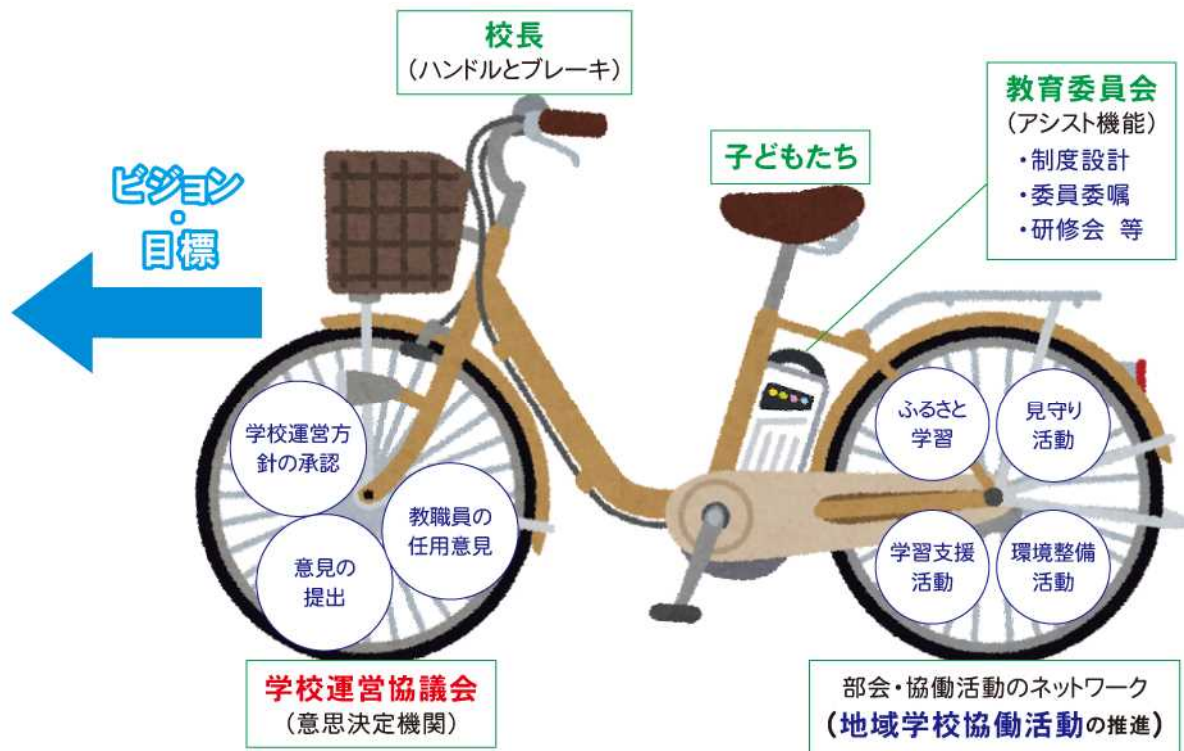


## 推進体制イメージ (学校と地域の連携・協働を推進)



学校運営協議会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第47条の5に基づき設置されます。教育委員会から任命された委員は、特別職の公務員(非常勤)の身分を有し、個人的な情報を始め立場上知り得た情報について守秘義務を負います。

# コミュニティ・スクールは 学校運営協議会と地域学校協働活動の両輪で!!



## 活動のポイント

↓↓ **熟議や対話**を通して ↓↓

- **情報共有**  
学校や地域の状況の共有(現況、良いところ、課題など)。
- **「想い」・「ビジョン」の共有**  
どんな子どもに成長してほしい。学校や地域がどうありたい。
- **互恵的関係**  
顔の見える関係性を築き学校・保護者・地域が双方向の取組へ。
- **活動展開**  
話し合ったことを実際の活動へつなげる。



## 地域学校協働活動



## 地域学校協働活動ってなに？



地域と学校が連携・協働し地域ぐるみで子どもたちの学びと成長を見守り、地域全体がつながり、明るく元気になる活動です。活動には幅広い地域住民(企業や団体含む)の参画がとても重要になります。

### ○子どもたちにとって

子どもたちに保護者や地域住民等の多くの大人が関わることで、大人に見守られている安心感の中で成長していきます。多様な人材、価値観に触れ、多様性を受け入れる力、コミュニケーション力、自己肯定感など様々な資質・能力の向上が期待できます。

子どもたちに  
関わって  
みませんか？



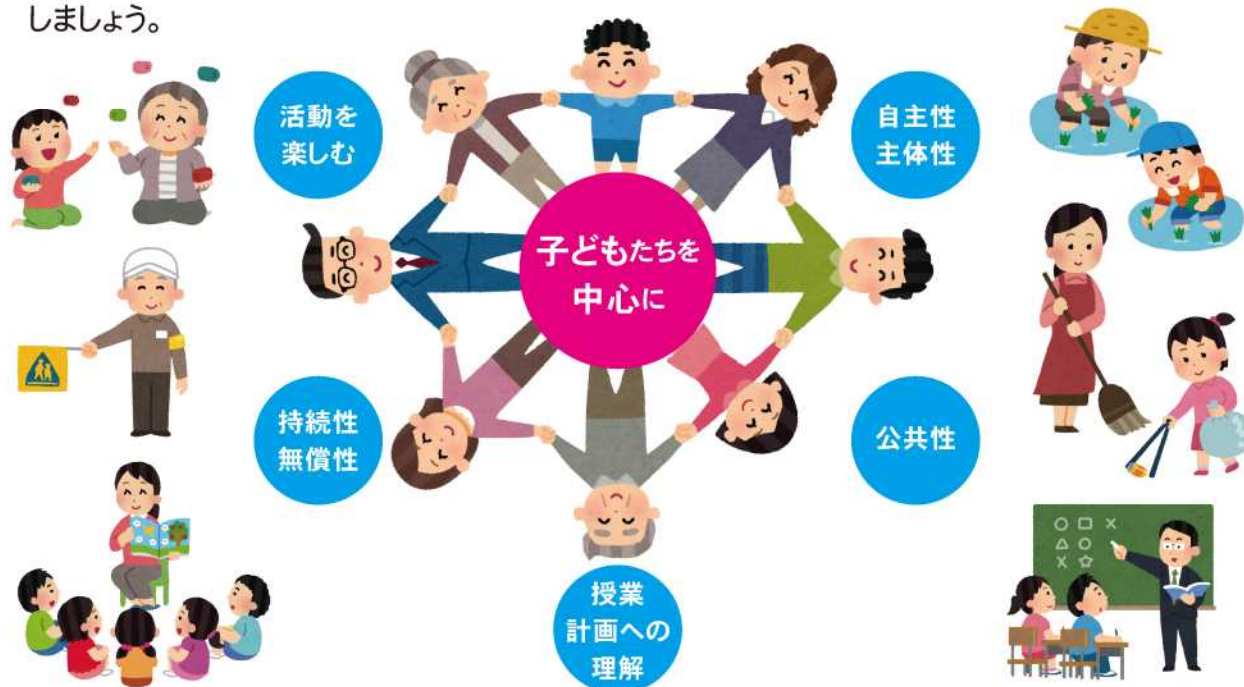
### ○地域への関心が高まります

学校外に出て地域資源・人材に触れる授業、学校に地域人材を招いて想いに触れる授業、地元企業と連携した授業プログラムなど、教育活動が充実します。授業を始め様々な体験活動や地域との交流機会が子どもたちにとって深い学びに繋がります。

これらの授業や体験等を通して地域人材や資源に触れることが地域への関心、愛着につながり次世代の地域(行事、産業等)の担い手としての意識も育まれます。

## サポート時のポイント

コミュニティ・スクールとして行う活動は、すべて子どもたちの成長へとつながっています。多様な方と多様な関わりがある中で、サポートとして学校や子どもたちと関わる際のポイントについて整理しました。お互いにとってwin-winの関係で無理のない持続可能な活動にしましょう。



# 地域学校協働活動事例

## 子どもたちの安全安心のために

子どもたちは地域の宝。安心して通学し、楽しい学校生活を送るために、安心できる環境は大切。大人の私たちができることを無理のない形で応援し、子ども達と声をかけあうことでつながり合う場を作りましょう。



朝の交通安全



環境整備



持久走大会見守り

例

朝の交通安全、環境整備、学校の施設整備、安全パトロール、草刈り作業、地域清掃、給食の見守り、学校内の清掃時の見守り、登下校時の見守り、感染症対策（検温作業、消毒作業）、校外指導、防災訓練、子ども食堂運営など



## 特技を活かして子どもたちと関わる

子どもたちの興味関心は様々。学校だけでは多くの体験を生み出すことはできません。皆さんの今まで培ってきた特技、得意分野を活かした活動は子どもたちの好奇心をくすぐり、生きる力を育みます。



三線クラブ



バスケットクラブ



パソコンクラブ

例

部活動指導（野球、サッカー、ラグビー、バスケット、卓球など）  
文化・芸能指導（エイサー、三線、琴）  
クラブ活動（パソコン、理科）など



## 授業外の教育活動サポート

子ども達の学びは学校の授業だけではありません。地域の方からの声を子どもたちは良く聴いています。少しでも子ども達とのふれあいの時間を持つことで、生きがいと地域の明るさが増してきます。



朝の読み聞かせ



朝の読み聞かせ(オンライン)



放課後見守り

例

読み聞かせ、放課後学習支援・見守り、夏休みの子供教室、低学年の給食時の見守り、校内掃除の見守り、語れ一会、福祉体験学習など



## 授業で子どもたちに伝える

皆さんが持っている得意分野を活かして、学校の授業の「せんせい」になり、多様な学びを子どもたちに伝える活動が盛んになってきました。子どもたちとのやり取りを通じて自分自身への学びにもつながっています。



漆喰シーサー作り



いのちの授業



プログラミング授業

例

ミシン指導(家庭科)、漆喰シーサー作り、ものづくり、版画指導(図工)、書道、短歌指導(国語)、体育指導(体育)、パソコン指導(総合)、ミシン・料理指導(家庭科)、いのちの授業(道徳)、社会人講話など





## 地域の産業・自然を知る

地域の大切な産業・自然を知ることが子どもたちが地域を大切にする心を育みます。地域へ愛着を持ち、様々な職場との触れ合いや体験からの気づきを学びへと生かす活動に地域の方々の協力は不可欠です。



羽地ダム水源学習



昔の暮らし体験学習



テーブルマナー講座

例

ふるさと学習、課題解決学習、ジョブシャドウイング(職場見学)、職場体験、企業による講座、職業人講話、漁業体験、施設見学(工場・体験施設・ダムなど)、農業体験、地域の海・山・川の調査・地域探検、米づくり体験など



## 地域の歴史・文化を知る

地域で育ち、伝統を大切にしてきた皆さんの誇りを、学校の授業として子どもたちに伝えることで、郷土愛は育まれます。お互いに支え合うことの大切さや、地域の子どもは地域で育てる、思いを伝えるとても良い機会です。



エイサー指導



地域学習



平和学習

例

地域学習、平和学習、地域の伝統芸能の学習、地域散策、地域の人へのインタビュー、エイサー・地謡指導など



## 地域行事への参加

伝統文化、行事は子どもたちが大きくなっても受け継いでいくべき大切な地域の宝。地域の人材や文化に触れることで地域への関心が高まり、地域行事への参加や地域活性化が期待されます。



八月八日御願



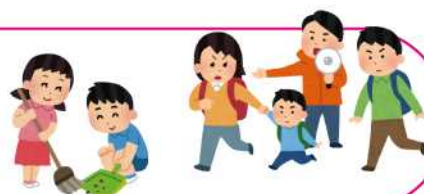
区民運動会参加



地域美化作業

例

地域の季節ごとの祭りへの参加、地域御願行事への参加、地域・公民館清掃作業への参加（クリーンデー・花いっぱい運動）、防災訓練への参加など



## 子どもたちから地域へ

地域から学んだこと、思いを知り感じたことを子どもたちから地域へ向けて発信することは大切な絆を作るための第一歩。その思いから子どもたちの成長を感じ、温かく見守る気持ちが地域を結ぶ機会に。



感謝集会



工事現場に絵の提供



地場産品の収穫・加工・販売の学習

例

ありがとう・感謝集会、課題解決授業の一般公開、地域向けの学習発表会の開催、壁新聞の展示、地域向けの作文のやり取りなど



# コミュニティ・スクールに参画することで

- ・地域に見守られている安心感が生まれます。
- ・多様な人材や価値観に触れることができます。
- ・落ち着き・自己肯定感が芽生えます。
- ・地域住民との交流が生まれます。
- ・体験活動や見守り活動が充実します。

- ・地域人材を活用した教育活動が充実し、授業の狙いが効果的に達成できます。
- ・地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- ・地域の協力により子どもたちと向き合う時間の確保につながります。

子どもたち

教職員

保護者

地域の人



- ・子どもたちが地域の中で育てられているという安心感が生まれます。
- ・学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- ・保護者同士や地域の人々との人間関係の構築につながります。

- ・地域づくりの担い手が育ちます。
- ・地域の課題解決のきっかけになります。
- ・子どもたちとの間に信頼感が生まれます。
- ・地域住民同志の交流が深まります。
- ・有用感や生きがいづくりにつながります。

地域の  
みらいのために



子どもたちの  
みらいのために

